



かがやく浜の子

令和3年度3月号

令和3年度重点目標 「気づき 考え 自分から行動する子 → かがやきいっぱい」

「かがやきいっぱい」の一年間、修了・卒業おめでとうございます

今年度も、学校行事への参加者の制限、参観会の延期や中止、PTA 活動の変更など、多くの制約をかけざるを得ない状況が続きました。そのような状況の中でも、浜の子たちは「気づき考え自分から行動する子 → かがやきいっぱい」を目標に学び続けました。

- 1年生；たくさんのひらがな、カタカナ、漢字を覚えました。たし算やひき算もできるようになりました。夏には朝顔を育てたり秋にはトカゲやコオロギを捕まえたりして、自然と仲良しになりました。縄跳びやけん玉を毎日練習して、多くの名人が誕生しました。
- 2年生；浜の子発表会では、工夫しておもちゃを作り、遊び方の説明を分かりやすくしました。掛け算九九もカードを使ったりマス計算をしたりして一生懸命に覚えました。生活科では、生まれてからを振り返り、成長の喜びと感謝の気持ちを持つことができました。
- 3年生；理科や社会の学習が始まりました。リコーダーの練習や外国語など毎日楽しく学習しました。朝登校すると、運動場に出てみんなで遊びました。給食は、もりもり食べて毎日完食でした。挨拶や掃除などは、1階のリーダーとしてお手本になりました。
- 4年生；授業では、みんなで考え話し合っ、問題の解決に近づきました。運動会、浜の子発表会などの行事にそれぞれ本気で取り組みました。特に2分の1成人式では、5年生になった時につなげようと、自分たちの力でやり遂げることができました。
- 5年生；仲間と協力していろいろなことにチャレンジしました。観音山野外学習では、大自然の中で仲間と協力することで、絆をさらに深めることができました。6年生を送る会でも、自分たちで会の企画・運営ができ、とてもたくましく成長しました。
- 6年生；白羽小学校のリーダーとして、日々過ごすことができました。委員会や学校行事、登校班など中心となって働く姿は、とても頼もしいものでした。卒業に向けて様々な活動を自分たちで計画し、気づき考え自分から取り組みました。
- なかよし；自分のペースで学習を頑張りました。苦手なことにもチャレンジする姿が増えました。なかよしミュージアムでは、いろいろなアートを作りました。最近では「ぬり絵ランド」を作り、いろいろな友達が喜んでくれています。

さて、浜の子たちは各学年の課程を修了し、1年生から5年生は進級、6年生は卒業します。卒業式では、校歌と式歌が卒業生の言葉の中で表現されます。今年度の卒業式の式歌は「旅立ちの日に(右上)」です。この歌は1991年、埼玉県秩父市の中学校の先生方が作られた曲で、作詞は当時の校長、作曲は音楽教諭だそうです。先生方の生徒への深い愛情が伝わってくるような温かい歌詞とメロディです。一方、右下はもちろん白羽小学校の校歌です。

どちらの歌詞からも「新しい未来に向け、希望いっぱいに進んで行こう」という意欲と、それを支えようとする周りからの愛情が感じられます。わたしも、改めて、浜の子たちの進級・卒業をお祝いしたいと思います。おめでとうございます。

今年度も、白羽小教育活動に対して、保護者・地域の皆さんから温かな御支援と御協力をいただいたことに感謝いたします。ありがとうございました。(文責 校長)

「旅立ちの日に」の歌詞の一部
 勇気を翼に込めて 希望の風に乗
 この広い大空に 夢を託して
 今別れの時 飛び立とう 未来信じて
 はずむ 若い力信じて
 この広い この広い 大空に

校歌の歌詞の一部
 開く未来に 翼をそろえ
 雄々しく 強くはばたこう
 われらは 浜の子 光の子
 かがやけ かがやけ 白羽小学校